

[台湾]

富山県魚津市 台湾インバウンドプロジェクト

富山県台北ビジネスサポートデスク

株ジェック経営コンサルタント台北事務所 所長 平川 正紘

1. 事業趣旨

富山県と台湾の交流が進む中、近年、多くの台湾人観光客が訪れている。中でも「立山黒部アルペンルート」は人気の観光地であり、2015年は13万人以上の台湾人観光客で賑わった。しかしながら、その効果は県内全域に表れているわけではなく、一部の有名観光地に留まっているのが現状だ。そのため、県内の各自治体も独自の活動を行い、観光客誘致に力を入れるようになった。今回は、2014年度より、台湾からのインバウンドを強化した魚津市の取り組みを紹介する。

2. 戦略

市がインバウンドプロジェクトに取りかかるにあたり重視したのは、イベント的なPR事業ではなく「市と台湾との交流事業」「成果(送客がリピートにつながる仕組み)」という観点だった。特に周辺には「立山黒部アルペンルート」「黒部峡谷鉄道」「宇奈月温泉」「五箇山」「金沢市」「飛騨高山」など全国的にも有名な観光地があり、それらと共存共栄できる体制を考える必要があった。

【ステップ1】受け入れ基盤の構築

A) 飲食店メニューの「繁体字」対応 (2014年)

市が最初に取り組んだのは、市内主要飲食店に対する外国語メニューの支援だ。「魚津」はその名の通り豊富な魚介類に恵まれており、人口に対する飲食店数は日本有数な地域である。宿泊施設が集まる駅前周辺には地元食材を楽しめる、多くの飲食店が軒を連ねている。地域の特徴に磨きをかけることで、訪問者の満足度向上に努めた。

B) 地元事業者と一枚岩に！ (2015年)

台湾インバウンドを中期的なプロジェクトにするため、また「魚津」が一枚岩で取り組むため「台湾インバウンド推進実行委員会」を設立した。メンバーは市内の宿泊施設、飲食店、交通機関等の事業者が中心となっており、「具体的な受け入れ方法の共有」や「改善点のブラッシュアップ」など行われている。また、メンバーには県観光関係者も入っており、県との連携体制も構築している。

C) 受け入れ態勢 (ソフト面) の強化 (2016年)

折角足を運んでいただいたのに、「きちんとしたおもてなしができないと意味がない」ということで、市では台湾人スタッフを雇用し「小回りの利く体制」で「現地旅行会社の窓口支援」「観光客のサポート」を実施している。また、市内の宿泊施設に対しても「台湾人スタッフの雇用に関する補助制度」を設けるなど「来ていただいたからには満足して帰っていただく」という心意気を感じ取られる。加えて近年では魚津市内で「台湾料理教室」を行うなど文化交流にも取り組んでいる。



魚津市内で開催された台湾料理教室。
市役所勤務の台湾人スタッフが講師となり、
台湾のお菓子作りを実施

【ステップ2】パートナーとの関係構築

A) トップセールスの実施 (2015年～)

次に取り組んだのは、台湾でのパートナー選定である。パートナーの選定にあたり、以下の方針が出された。

- ① 既に富山県に多くの送客実績のある台湾大手旅行会社
- ② 実績や規模は問わず、市と一緒に送客プロジェクトに取り組む意欲のある旅行会社

関係者と協議を重ねた結果、②を選択し、具体的には「甲種旅行業聯誼會」と今後の交流・送客を取り組むことを決め、直ぐにトップセールスを行った。トップセールスは、同会の総会で行われ、市長自ら観光資源について熱く語ったことで、活発な意見交換はもちろん、今後の交流の具体的なロードマップも決定した。

B) 視察ツアーの開催 (2015年)

トップセール後の具体的な交流の一環として、「甲種旅行業聯誼會」による魚津市視察ツアーを実施した。本視察では、市の良いところを余すことなく提案・体験して頂いたことはもちろん、商談会の開催や課題や改善点の共有も行なわれた。また、本視察を一過性に終わらせないためにも、各地では市民の方が（任意で）「おもてなし／お出迎え」をしたことが高評価されたと共に、市全体が台湾歓迎という雰囲気を醸成するきっかけとなった。



「甲種旅行業聯誼會」による魚津市視察

【ステップ3】プロモーション (2015年～)

魚津市の認知度向上のために新聞・雑誌や業界紙、ブログ・SNS、MRT内での広告展開など様々な媒体で魚津市のPRを行った。

また、これらの活動は魚津市単独では行わず、一部業務は認知度の高い、黒部市とも連携して行うことで、黒部峡谷へのついで寄りを促進させている。

広告展開以外にも、台北で行われる観光イベントにも積極的に参加している。特に行政単体で参加するのではなく、地域団体や企業と一緒に取り組んでいることが特徴的だ。



魚津せり込み蝶六保存会とともに台北での観光・文化イベントに参加

3. 効果や課題

これらの活動の成果により、年々魚津市への台湾人観光客数は増加している。一方で、魚津市により明確な目的を持って訪れてもらうために「更なる広域連携」「更なる観光資源の改善」に今後は取り組む予定である。

また、「インバウンド」という一方通行ではなく、両者間の深い交流を継続させるために「都市交流や文化・スポーツ交流」といった裾野を広げる取り組みが期待されている。



台北MRT内に展開した広告